

豊田市「環境モデル都市」づくりの取組み

豊田市では国から「環境モデル都市」に選ばれ、5ヶ年計画で目標年次 2030 年、2050 年に向けて「低炭素都市」に向けて計画作成、活動を実施します。

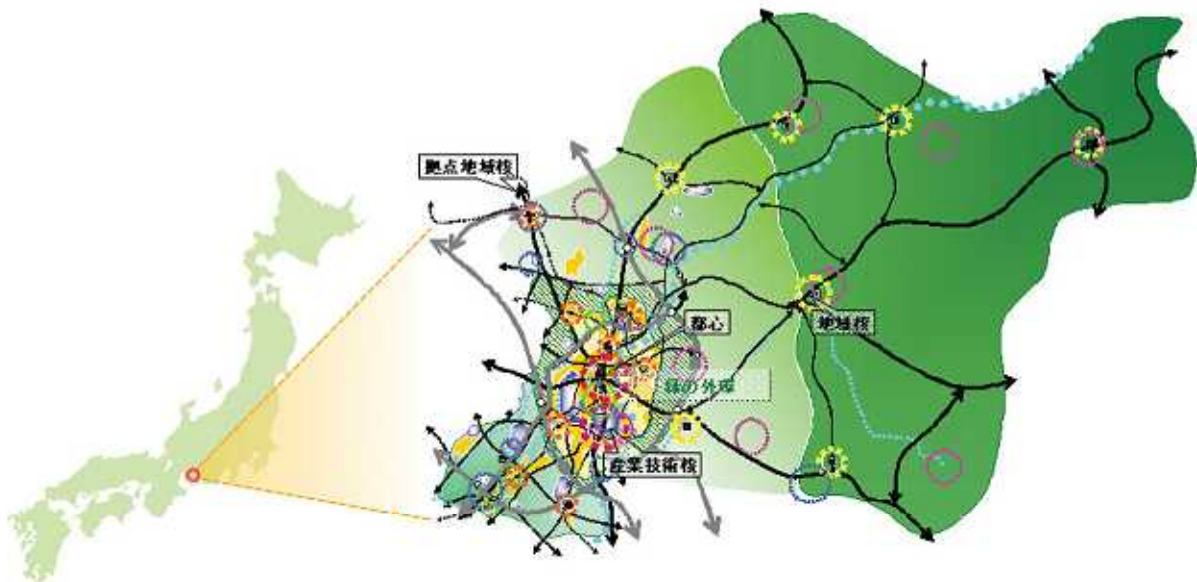


〈「活発な市民活動・強い経済活動」と「水と緑の低炭素社会」の両立〉

ハイブリッド・シティとよた

－ 人と環境と技術が融合する環境先進都市 －

- 3つの領域（「交通」・「産業」・「森林」）を中心に「人と環境と技術を融合（ハイブリッド）」した低炭素社会づくりを推進します。
- 「都心」に先進の環境技術を先駆的に投入し、各領域の取組のモデル地区として見える化を図り、市内外に訴求し、実際のまちづくり・市街地整備に波及させます。
- 併せて、環境と暮らしの技術を融合する「民生」における取組が各領域の取組を支えます。



● CO₂排出量の状況

- ・ 基準年(1990年) : 554万 t-CO₂
- ・ 2004年度 : 584万 t-CO₂

● CO₂削減目標

- ・ 2030年
【必達】30% 【チャレンジ】50%
- ・ 2050年
【必達】50% 【チャレンジ】70%

● 2030年部門別増減率

部門	基準年内訳(%)	増減率(%) 2030年/1990年
産業	67.6	▲27.0
民生(業務等)	7.9	▲17.6
民生(家庭)	8.1	
運輸	14.7	▲40.0
その他	1.7	▲3.2
		増加量(t-CO ₂)
森林吸収量	-	165,000